

教えて国土交通省!

国土交通省に寄せられた、普段の生活で感じたふとした疑問や質問などを紹介するこのコーナー。

今回は、共同溝と地籍調査に関する2つの質問にお答えしていきます。

Q

道路局 担当者に聞きました。

共同溝ってなに？

前にテレビ番組で“日比谷共同溝の工事現場のみなさん”といっしょに共同溝の中で体操をしている放送を見ました。トンネルの工事現場のようでしたが、共同溝とトンネルは違うのですか？

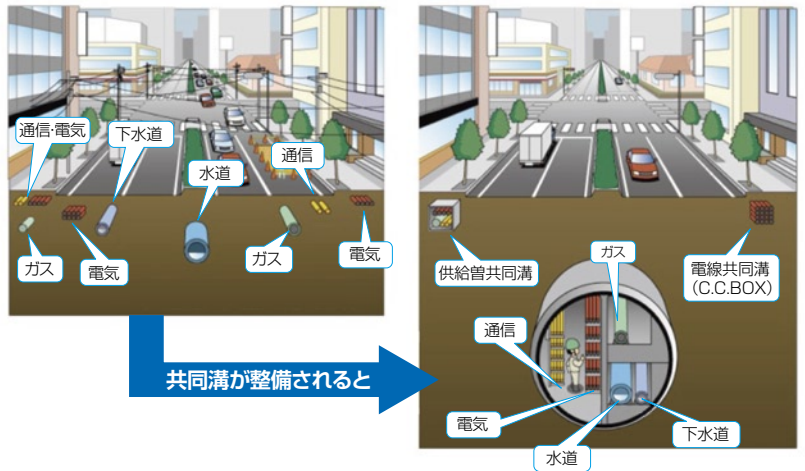
(富山県・小1)

A

共同溝は、車や電車を通すトンネルではなく、電気、ガス、上下水道、電話・通信など日常の生活に欠かせないライフラインを道路の地下にまとめて収容する施設です。

共同溝の中に入ってライフラインの維持点検などの作業ができるので、道路の掘り返し工事を減らすことができ、これに伴って工事渋滞を軽減することができます。また、地震に強い構造なので、災害に強いまちづくりやライフラインの安全性の確保に役立っています。

完成後は、人の目に触れることがなくなりますが、工事期間中に見学会などが行われその存在と役割が知られるようになってきました。



Q

土地・水資源局 担当者に聞きました。

地籍調査ってどんなことをしているの？

新聞で国土交通省が積極的に地籍調査を推進しているという記事を読みました。地籍調査とはどのような調査ですか？

(奈良県・高1)

A

地籍調査は、*一筆ごとに土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量した結果を地籍図及び地籍簿にまとめます。

調査は、主に市町村が実施しており、昭和26年から実施していますが、平成21年度末現在、完了した地域は全国で約49%です。現在登記所に備え付けられている図面の半数近くが明治時代の地租改正時に作成された図面で、必ずしも土地の正確な面積などを反映していません。

調査未実施地域では、土地の境界が不明確な場合があり、例えば土地を売買する場合や土地を担保にお金を借りる際に、まず境界の調査に多大な時間と費用を要し、場合によっては取引や担保権の設定ができなくなる場合も想定されます。また、地震などの災害発生時には土地の境界確認から始める必要があり、多くの時間と手間がかかり被災地の復旧・復興が遅れる要因にもなります。

国土交通省では、本年5月に「国土調査事業十箇年計画」を策定し、調査の計画的実施を促進しています。実施にあたっては、土地所有者のみなさまのご理解が不可欠です。ご協力をお願いいたします。

*土地の所有権などを公示するために人為的に分けた区画のこと。登記所の土地取引の単位。